

## 第五次「千葉県子どもの読書活動推進計画」策定に向けた子どもの意見聴取（アンケート調査）結果概要

対象学年 小学校6年生 中学校2年生 高校2年生

回答数 小学校199名 中学校174名 高校173名 合計546名

質問1 読書は好きですか。（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

	①当てはまる	②どちらかと言え ば、当てはまる	③どちらかと言え ば、当てはまらない	④当てはまらない
小	74 (37%)	62 (31%)	45 (23%)	18 (9%)
中	59 (34%)	56 (32%)	41 (24%)	18 (10%)
高	55 (32%)	60 (35%)	38 (22%)	20 (12%)
小：n=199 中：n=174 高：n=173				

・「読書が好きか」という問いに対して、不読率が高いと言われる高校生も他の校種と回答の割合はあまり変わらない。

質問2 あなたは学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

	①1時間以上	②30分以上、1 時間より少ない	③30分より少ない	④全くしていない
小	22 (11%)	49 (25%)	82 (41%)	46 (23%)
中	10 (6%)	28 (16%)	64 (37%)	72 (41%)
高	16 (9%)	26 (15%)	44 (25%)	87 (50%)
小：n=199 中：n=174 高：n=173				

・中学生、高校生になると「全くしていない」という回答数が増え、高校生は半数が読書をしていないと回答している。小学生でも読書をする時間はあまり長くない傾向が見られる。

質問3 ※（2で「④全くしていない」と回答した人）なぜ読書をしないのですか。（複数選択可）

	①本を読むのが 好きではない	②勉強や塾で忙 しい	③読書以外に時 間を使いたい	④その他
小	28 (61%)	13 (28%)	22 (48%)	7 (15%)
中	28 (39%)	26 (36%)	52 (72%)	8 (11%)
高	16 (18%)	18 (25%)	58 (81%)	16 (18%)
複数回答のため、「全くしていない」と回答した人数（n）における割合 小：n=46 中n=72 高n=87				

<p><b>【小学校】 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めんどくさい</li> <li>・漫画の方が面白い</li> <li>・習い事</li> <li>・面白くもない</li> <li>・漫画を読むから</li> <li>・読みたいけど読むひまがない</li> <li>・読書よりも面白い娯楽があるから</li> <li>・読む気にならない</li> </ul>
<p><b>【中学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにやりたいことがある</li> <li>・読もうと思わないから</li> <li>・沢山の文を読むのが苦手</li> <li>・面白くないから</li> <li>・読書が苦手だから</li> <li>・本を読んだら眠くなるからおもしろくない</li> <li>・好きだけど読む気にならない</li> <li>・おもしろくない</li> </ul>
<p><b>【高校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホで本見た方が楽</li> <li>・良い本がない</li> <li>・文字読むのがヤダ</li> <li>・漫画読みたい</li> <li>・読みたくなったときにたまに読む</li> <li>・読みたいけど、時間が無い</li> <li>・読むのは好きだが、楽しんで読める時間が確保できない</li> <li>・部活動や生徒会活動で時間がない</li> <li>・ゲーム</li> <li>・特に本を読もうという気にならない</li> <li>・本を読むなら1冊を短時間で読み通すとストーリーが分かって面白い</li> <li>・読める時間がない</li> <li>・活字が無理</li> <li>・本を読むのはすごく好きだが読みたい本が買えていない</li> <li>・部活で忙しくて、帰った時にあまり小説を読もうとはなれないから</li> <li>・わざわざ読もうと思わない</li> </ul>

- ・「全くしていない」と回答した中学生・高校生は「読書以外に時間を使いたい」という回答が多く、小学生でも高い傾向にある。小学生では「本を読むのが好きではない」という回答の割合が6割超えと高い。

質問4 これまで読書をしてきてよかったことは何ですか。(複数選択可)

	①楽しい時間や有意義な時間を過ごせた(楽しい時間や自分のためになる時間を過ごせた)	②知識が身についた(知らなかったことがわかった)	③漢字を読めたり語彙が増えたりした(知っている漢字や言葉が増えた)	④想像したり思考したり、表現したりする力がついた(想像したり考えたり、伝えたりする力がついた)	⑤特にない	その他
小	67(34%)	104(52%)	78(39%)	91(46%)	35(18%)	10(5%)
中	76(44%)	78(45%)	84(48%)	83(48%)	25(14%)	4(2%)
高	91(53%)	95(55%)	77(45%)	92(53%)	19(11%)	4(2%)
複数回答のため、それぞれの数値は、学校種別の回答者総数に対する割合 小：n=199 中：n=174 高：n=173						
その他【小学校】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で文章を書くなどのことが得意になった</li> <li>・ゲームするなって言われたときの暇つぶしで読んだ</li> <li>・その本が好きな友達と話せた</li> <li>・漢字が書けるようになった</li> <li>・文章を書くことが得意になった</li> <li>・きれいなんだからに決まっている</li> <li>・気分解消になった(気持ちがすっきりした。)</li> <li>・感動した</li> <li>・世界観が広がった</li> <li>・面白い</li> </ul>						
その他【中学校】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちをリフレッシュすることができる</li> <li>・物語に魅かれることができた</li> <li>・他にはない、自分だけの世界が開けるから</li> </ul>						
その他【高校】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・面白い</li> <li>・本が沢山集まった</li> <li>・好きな芸人が本を出していたのですが、このネタはこういう思考回路からこうなって出来たものとか、その人の頭の中を覗いてみたいで他には無い面白さがあるからです</li> <li>・本で学んだことが役に立った時とても嬉しかった</li> </ul>						

- ・学校種による回答数の差は少ないが、高校生では「楽しい時間や有意義な時間を過ごせた」の割合が高い傾向。その他については全体的に同じ程度の割合であり、多くの児童・生徒は読書に良い点があると捉えている。

質問5 みなさんが読書（本）に興味を持つためのアイデアや意見はありますか。「～してほしい」、「～してはどうか」などあれば聞かせてください。（例 「学校のタブレットで電子書籍を読めるようにしてほしい」「学校の図書館にライトノベルのコーナーを作してほしい」「学校の帰りでも行けるように図書館の開館時間を長くしてはどうか」 など）

【小】

- ・本を増やしてほしい
- ・図書室に最近の小説を置いてほしい
- ・学校で漫画読ませて
- ・学校の帰りに行けるほどの距離に図書館を作してほしい
- ・漫画を読みたい
- ・近くに本屋がほしい。友達と本を買いに行きたい。漫画の小説版を多めにほしい
- ・間に合ってます
- ・義務化
- ・図書室の本の返済期間を長くしてほしい
- ・業間休みにも図書館を使えるようにしてほしいです
- ・今人気のアニメの小説を出したりするとみんなが興味深く読書をする人が増えると思います
- ・学校でも文豪の小説を読みたい
- ・もっと本を増やしてほしい
- ・面白い本が欲しい
- ・読書タイムのほかに、図書室に行く時間を学年ごとに作る
- ・図書室を広くすること
- ・ポスターなどを廊下にはる
- ・20冊読めた人は放送で名前が呼ばれる  
(おひるごはんに) (1週間ごとに返せた人)
- ・映画化されたファンタジー小説のような本をお勧めします。謎があり、面白いからです
- ・漫画や映画の小説版をたくさん出す
- ・車の本を増やしてほしい
- ・図書室の本の種類を増やしてほしいです
- ・本のリクエストが年に2冊、しかも進級してから1ヶ月程で締め切られてしまうため、図書室で興味が湧く本が少ない。リクエストできる冊数を5程度に増やし、年中通してリクエストができるようにしてもらいたい。年一回読書週間などを開き、本と触れ合うべきだと思う
- ・もっとたくさんの人気シリーズの本を入荷してほしい、少し大人向けの本も入荷

してはどうか

- ・ホラー系をもっと増やしたほうがいい
- ・面白い本を増やしてほしい
- ・漢字にふりがなを振ってほしい
- ・下校後も図書室で友達と本を読めたりする空間がほしい  
(卒業生や地域の人なども利用することができる)
- ・学校のタブレットで電子書籍を読めるようにしてほしい
- ・電子書籍の本の量を多くしてほしい
- ・学校の図書室にライトノベルコーナーを作してほしい
- ・校舎の中にあるあまっている教室に本を置いてみる
- ・リクエストの本を置く
- ・もっと宣伝する
- ・ポスターを作る
- ・たくさん算数などの本が出てほしい
- ・シリーズ系の本をもっと多くしてほしい
- ・借りられる本を多くしてほしいです
- ・学校の図書室で三つ以上本を読んだらシールをあげたりするのはどうか
- ・ライトノベル(異世界系)を増やしてほしいです
- ・学校の帰りでも行けるように図書館の開館時間を長くしてはどうか
- ・アニメ系小説を増やしてほしい
- ・もう少しシリーズを増やしてほしい
- ・学校でも本を読むという習慣をつける
- ・図書の時間を増やしてほしい
- ・みんなが本を読む時間を増やしたらいいと思う、物語系の小説を多くしてほしい
- ・図書室の本をたくさん置いてほしい
- ・もっといろいろな本を学校に置いてほしい
- ・みんなが読みやすい本をたくさん入れてほしいです
- ・図書館に最近の本をもっと増やしてほしい
- ・読書についての宣伝をする
- ・四街道市物井に大きい図書館がほしい
- ・面白い本を増やしてほしい
- ・人気アニメキャラクターの本を増やしてほしいです
- ・読書の時間をもう少し長く取るようにしてはどうか
- ・授業で、図書の時間や本を読む時間を増やしてほしい
- ・図書館などに、それぞれ皆が好きな本を置いてほしい
- ・興味が持てる本があったほうが良いと思う

- ・漫画はだめかもしれないけど、漫画を増やしてほしいです
- ・好きな本を探すパソコンを置いてほしい
- ・本の種類を増やしてほしい
- ・学校の図書室や、図書館に実際にその本を読んだ人の感想を本の前に貼ってまだ読んでいない人の興味を引くようなコーナーを作ればよいと思います
- ・電子書籍に夏休みなどの読書感想文の課題文を集めたコーナーを作ってほしい
- ・学校の図書室にミステリ小説のレポーターを増やしてほしい
- ・学校のタブレットでアニメキャラクターの漫画など(学校の中にある)図書室で人気な漫画など図書館などでみんなに人気なものを読めるようにしてほしい
- ・個人的にラブコメディを読めるようにしてほしいです
- ・本を作れる場所を作ってほしい
- ・学校の図書室にライトノベルコーナーを作ってほしい
- ・アニメの小説版など、幅広いジャンルの本が読みたい
- ・読みたい本があるのかをタブレットや図書室のコンピューターで簡単に見れるようにしたらどうでしょうか
- ・学校にある本のバリエーションを増やしてほしい
- ・もっといろいろな種類の新しい本を買ってほしい。恋愛小説も読みたい
- ・面白いという本をもっと置いてほしい
- ・漫画なども小説にして読ませてほしい
- ・学校にもっと新しい本を増やしてほしい
- ・恋愛系の本を入れたほうがいい
- ・クラスにライトノベルのコーナーを作ってほしい
- ・図書室の本の種類を増やしてほしい
- ・本の種類を増やす
- ・もう少し本の種類を増やしてほしい
- ・面白い本が読みたい
- ・科学が好きな人用のマンガが良いと思います
- ・新着の本などを前に出してほしい

**【中】**

- ・タブレットで本が読めるようにしてほしい。哲学や心理学の本を多くしてほしい。音楽関係の本を増やしてほしい
- ・学校の図書室にライトノベルの本を置いてほしい。学校のタブレットで電子書籍の本を読めるようにしてほしい
- ・図書室に行くのが遠くて大変なので、持ち運びできる電子書籍を読めるようにしてほしいです

- ・本の貸し出し時間をもう少し伸ばしてほしい
- ・感動する系の小説がもっとほしいです
- ・学校のタブレットで電子書籍を読めるようにしてほしいです
- ・タブレットでも読めるようにしてほしい
- ・学級文庫など、身近に本を置いておく
- ・本の種類をもう少し増やしてほしい
- ・漫画を読めるようにしたい
- ・学校のタブレットでも電子書籍を読めるようにしてほしい
- ・タブレットで読める
- ・学校の図書室にライトノベルのコーナーを作してほしい
- ・漫画みたいな本がほしい
- ・語る
- ・最近の小説や、人気のものをいち早く導入してほしい
- ・読みたい本を聞く
- ・バトル漫画
- ・最新作とか人気ランキングとか作してほしい
- ・図書館にもう少し中学生が読める小説を置いてほしい
- ・図書室にある本の種類を増やしてほしい
- ・「人気」や「人生で死ぬまでには読んだ方が良い」などの言葉を使う
- ・挿絵を多くする
- ・図書室のおすすめの本を増やしてほしい
- ・朝読の時間だけでなく、放課後の帰りの会の前にも読書の時間がほしいです。お願いします
- ・謎解きをするのは楽しい
- ・学校の近くに図書館を増やしてほしい
- ・気軽に本を借りられるようにしてほしい
- ・好きなきにいつでも行けるように図書館の数を増やしてほしい
- ・学校のタブレットでも電子書籍を読めるようにしてほしい
- ・図書室の開館時間を延ばしてほしい
- ・定期的に面白い本を出す
- ・例にありますが、学校のタブレットで電子書籍を読めるようにするのがとてもいいと思います。あと、朝の読書タイムを増やしてほしい
- ・図書室にラノベ（ライトノベル）をもっと置いてほしい
- ・漫画がほしい
- ・おすすめの本を分かりやすく置いてほしい。たまにふざけてる人がいるから改善してほしい

- ・授業で図書時間を作ってほしい
- ・個人で好きなジャンル別に読めるようにしてほしい
- ・学校の図書館に今流行っている本、人気の本を置いてほしい
- ・学校のタブレットで本を読めるようにしてほしい
- ・話題の本を置いてください
- ・次に流行りそうな本コーナーとか作ってみる
- ・本を読むのが苦手な人がいると思うのでもっと多くの短編集を図書館に置いてくださると嬉しいです
- ・いちいち探すのが大変なので、図書館にあるような調べたら本の場所がわかる機械が欲しい
- ・例にあるように、学校のタブレットで本が読めると、とてもいいと思います
- ・図書館を増やしたらいいと思う
- ・もうちょっと本を読む時間がほしいです
- ・学校のパソコンでも電子書籍が読みたい
- ・学校の図書館にノベライズコーナーを作ってほしいです
- ・学校の図書館にライトノベルを増やしてほしい
- ・有名な本や流行りの本を借りられるようにしてほしい
- ・本のジャンルをもう少し増やしてほしい
- ・本屋大賞を受賞した作品など、目につくようなポップもつけたら借りる人が増えると思う
- ・学校の帰りに図書室を開けてほしい
- ・面白そうな本を授業などで手に取って、その本について1人1人が紹介すればその本に対する気持ちが高まって、本のすばらしさに気付くことができると思います！それを授業ではなく、普段の自分の時間の中でできることができた本に興味を持った証拠だと思います
- ・テスト前などに図書館を開ければ、休憩時間などに本を読むことが増えると思う
- ・流行中の漫画を取り入れてほしい
- ・テスト期間に自習スペースとして図書館を開館してほしい  
→午前10時～午後6時頃
- ・学校の図書館にライトノベルコーナーを、作ってほしいです。例えばアニメの人気な小説
- ・漢字が読めるようにタブレットで読みたい
- ・図書室の本のジャンルを増やしてほしい
- ・最新の話題の本を取り入れてほしい
- ・学校のタブレットで電子書籍を読めるようにしてほしい
- ・流行りの本を置いてほしい

- ・学校のタブレットで電子書籍を読めるようにしてほしい
- ・小説をガンガン増やしてほしい
- ・学校のタブレットで電子書籍を読めるようにしてほしい。ちょっと漫画も
- ・まずは、普段本を読まない人に読みやすい本をいっぱい置いてほしい
- ・ラノベを読めるようにしてほしい
- ・図書館の人気ランキングを作ってもらえることはどうか
- ・おすすめの本を教えてください
- ・図書室に若者向けの本を増やしてほしい
- ・学校での読書時間を増やしたいため、放課後でも行けるように開放時間を長くしてほしい
- ・短編集コーナーがあると、時間がないときにも読めるため、取っ払いと思う人が多いと思う
- ・学校の図書館にある本を分かりやすくしてほしい。
- ・漫画を買ってほしい
- ・本を無料で配ってみんなに読んでもらう
- ・もっといろいろな本だったりアニメを本にしたりすることです
- ・本に関しての質問箱を設置して、おすすめの本などを進めてもらう
- ・いろんな種類の本を増やしてほしい
- ・ライトノベルの本を増やしてほしい
- ・図書室にどんな本を置いてほしいか（漫画もあり）学校でアンケートを取って図書室に置く
- ・ライトノベルの本を増やしてほしい
- ・それぞれの好みにあった本が存在すれば読む可能性が増えると思う
- ・読書をして、ポイントが貯まるとか
- ・朝学習以外にも本を読む機会を増やしてほしい
- ・小説を読む時間を取る
- ・タブレットで本を読みたい
- ・教室に数冊本を置いてほしい。朝読の時間に本を読む人が増えるかもしれないから

**【高】**

- ・図書館が面白い事を伝える
- ・途中でイラストを挟む
- ・図書室に行く機会を作る
- ・開館時間を10分くらい長くしてほしいです
- ・電子書籍がもっと広まればいいと思う
- ・朝読の時間を設ける

- ・ライトノベルコーナーを作ってほしい
- ・スマホで気軽に読めたら読むかも。自分がどのジャンルだったら読めるかが分からないから、診断できるサイト？とかがあれば興味がわきそう
- ・タブレットで話題の小説が読めるようにしてほしい
- ・教室にみんなが持ち寄って誰でも借りられる本棚を作る
- ・ライトノベルは好きなのでそういう本が増えたらもっと読書をしたくなるかなと思いました
- ・映画やドラマなどメディア化した本を置く
- ・本自体の厚みがない短編の小説とかを置いてみる
- ・学校の図書館に本の流行りランキングコーナーを作ったりして流行りものを出してほしい
- ・小説を旬の俳優を使って映像化する。反感も買いやすいからちゃんと原作に沿って人選する
- ・ページが少ない小説で、目を引く帯をつける
- ・朝の時間に読む時間を増やしたり、情報を共有したりする場をなんとなく作る
- ・それぞれの好きなジャンルの本から読んでみる
- ・読書週間記録をとる
- ・図書館をカフェ的な空間にしてはどうか。私は本をただ読んでいるだけでは飽きてしまうけど、飲み物とかと一緒にならその空間が好きになるので図書館に通うかもしれない
- ・学校で週に何回か読書を読む時間を作る
- ・絵本はマンガも立派な本だと思います。それを各教室に置くのはどうでしょうか。そこから書籍化したものとか、本になったものとかを読むきっかけになると思うからです
- ・新しい小説も図書館に置いてほしい
- ・本の内容の一部分だけを公開して、続きが気になるようにしてみるコーナーやお手紙を作ってみる
- ・映画やドラマの原作や有名人のエッセイなどのコーナーを常時設置し更新していけば良いと思う
- ・映画化やドラマ化した場合、そのポスターと原作と一緒に置く  
→宣伝を見て興味を持った人や、好きな俳優が出ていて読んでみようと思う人がいるかもしれないから
- ・人気アーティストが小説をモチーフにした曲を歌っていると思う。工夫して、その曲と共に本を置くと、そのアーティストが好きな人は興味を持って読むかもしれない
- ・高校生におすすめの本を紹介する SNS のアカウントを作って、流れてくるものが

自然に目に入るようにし、興味を持ってもらう

あらすじは動画や漫画で紹介し、無料試し読みのリンクも貼っておくなど

- ・地域に密着した図書館がほしい
- ・朝読書時間を作る
- ・検索を簡単にできるようになれば良いと思う
- ・新書をもっと沢山置く
- ・本屋大賞や直木賞などの賞をとった作品のコーナーを作してほしい
- ・図書館に文庫本を増やしてほしい
- ・スポーツの本を多くしたり、漫画を少し多くしたりしたら良いと思います。個人的にもっと自己啓発系の本を多くしてほしいと思います
- ・図書館に行って本を借りたり、本を出して読んだりするのが手間なので、スマホで本を読めるようにしたらスキマ時間に読む人が増えると思う
- ・本を読む事にポイントがたまって景品等と交換できるようにするのはどうか
- ・教室に本を何冊か置いてほしい
- ・電子書籍の有料版のものが今の時代にいっぱいあるので、それを何かしらの方法で読みたい
- ・どんな本を読めばいいかわからない人向けにフローチャートを作る。文量の多さ、どんなカテゴリーかなどを質問していったおすすめの本を紹介する
- ・読者が本の内容にタグ付けをして、普段本を読まない人が、その人の興味のあるタグが付いた本を選んで読む機会を設ける
- ・電子書籍
- ・文字を可愛くしてほしい
- ・電子書籍を読む時間を設けてみる
- ・本を配ってほしい
- ・学校で読書時間を作る
- ・本を廊下に置いてほしい
- ・昔の短編集をもっとほしい
- ・電子書籍を自分の端末で借りられるようにしたい
- ・例がいいです
- ・図書室の本を電子で貸し出せると良いかも
- ・読書時間を設ける
- ・タブレットで電子書籍が読めるようにしてほしい。学校で図書館に行く機会がないから、授業などでも図書館に行く機会をつくる
- ・本が好きな人におすすめの本を一言で紹介してもらい、それをまとめたものを紙やデータで配布する。これを定期的に行う
- ・総合探求などの時間で本紹介の機会を設けてみてはどうか

・朝に 10 分間読書できる時間を作る。(小中学校のように)朝読書するとその日の集中力も上がるような気がする

- ・タブレットやスマートフォンで読書ができるように、電子書籍の導入を望む声が多い。本の充実、特に新刊、人気のある本など、様々な本を置いてほしいという回答もあるが、中でもライトノベルを望む声が多い。
- ・図書館の開館時間の延長や放課後の解放を望む声もある。
- ・蔵書検索システムの導入 (DX 化)
- ・小説をモチーフにした曲があり、曲とその小説の本を併せて紹介をする。そのアーティストが好きな子どもで読書に興味のない子どもが本を手にとるきっかけになるのではないかという意見もある。